

詩画家 森田MiW × タオルメーカー楠橋紋織のコラボブランド！
MiWさんのちょっと不思議であったかな絵が
タオルやハンカチ、くらしのアクセントになるモノタチに映しだされます。
毎日がもっとオシャレにハッピーに。しあわせの時間が流れます。



モコモコ
ドゥブツ
ハンカチ

モコモコパイルに刺しゅうがポイント。
2通りの風合いを楽しめるガーゼ・パイル織りです。
あなたはどの子と目が合いましたか。

ガーゼパイルハンカチ 綿100%
[サイズ] 約25cm×25cm 各990円(消費税込)
Designed by Kusubashi Mon-ori in Japan, Made in China.

『草原ウサギ』

あのたくさん花の咲く草原は
今もあるのでしょうか。
ビョオンビョオンと
長い耳をなびかせて
跳ねまわっていた
ウサギのいる
美しい草原。
またアナタと
花の冠をつくりたいのです。



A-64789-86-Y

『雪山ライチョウ』

すっかり雪と氷ばかりになった
あの山には
その景色とおんなじ色の
まるまる太ったライチョウが
ぼってりぼってり
暮らしておりました。
苦手なモノは、
実はねカミナリなんだそう。
ここだけの秘密です。



A-64787-86-BE

『街角ネコ』

ねえねえねえ。
そう呼び止めると
振り向いたその子。
シッポをグッと強気に立てて
街路樹を鋭い爪で
ひとガリリ。
これからあの家に
帰るのね。
あったかいゴハンもらって
ナニゴともなかったように
眠るんでしょう？
朝の街角にて。



A-64788-86-G

『月夜ミミズク』

閑かな閑かな三日月の夜。
ミミズクがひとり耳の羽根揺らす。
時々鼻歌を謡う。
ホホウ ホホウ ホホウ。
月明かりが
その声を照らす。
淋しくないよ。
そう云ったのは樫の木。
ゆったりと
森の夜は更ける。



A-65589-86-PAP

『森林キツネ』

キツネは行くよ。キツネは行くよ。
大きなシッポをユッサラリンと振って。
キツネは行くよ。
美しく悪戯な瞳を
キララリンと光らせて。
キツネは行くよ。
自慢の声でケンケンと
鳴きながらね。
あの湖の向こうには
きっと優しい友だちが
待っているんだね。
だからね、
きっと行くんだねキツネは。



A-65590-86-GY

『氷原シロクマ』

ギザギザしているその冷たい氷原は
やっぱりちょっと淋しくて
シロクマは溜め息をつきました。
風がヒョウヒョウ吹くだけの氷原で
シロクマは
あんまり退屈だったので
ちょっとだけ
腰を振ってましたの。
ニョッ、とね。ニョッ、とね。
なんだかなんだかシロクマは
ちょっと楽しか
なったような気がしてね
ひとりでニヤッとしましたとき。



A-65591-86-G

『湖畔ペリカン』

可愛い桃色の羽根を揺らしてペリカンは
この湖の縁を歩いておりました。
ベタベタベタと鳴る水掻きの音は
静かなここに楽しげに響くのでした。
食べるものも、心地いい寝床も、
自分と同じに美しい他の仲間も。
この湖畔にはたっぷりと在る。
そんな満足感に満たされた
彼のクチバシは
あくびと一緒に、
それはそれは大きく伸びて
膨らみました。



A-67067-86-PAP

『高原ヒツジ』

ぼこりぼこりと見える山の中腹に
可憐で佳い匂いの花が
咲き揃っておりました。
フワフワモコモコの白い毛のヒツジは
時々ここへ登ってきては
その花々と話をするのが
好きでした。
ちょっと肌寒い
その高原でしたけれど
フワフワモコモコの
あったかい毛でしたから
ゆったり楽しく座ってね、
陽が傾くまで
風に吹かれておりました。
ああ、いいキモチ。



A-67068-86-BE

『樹林ナマケモノ』

背の高い樹にぶら下がった
そのナマケモノは
こう云ったんだ。
だったらアンタは
なんで歩いているの？
って。
そういえば、
「ジッとしていてイイね。」
なんて云いながら
なんでボクは
ずっと歩いているんだろう？



A-67069-86-SP